

授業科目名	外科系病態治療学	担当教員名	山口 眞弘			
期 間	後期	履 修 学 年	1	2	3	4
単位数・時間	1単位・30時間			●		
授 業 形 態	講義		●－必修・○－選択			
授 業 の 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業の概要〕 外科的治療を成功に導く諸因子の中で看護の果たす役割は大きい。ここでは外科各科に共通する臨床看護学に必要な知識と技術、考え方や理念を学ぶ。また、各臓器の代表的な疾患について、病因、病理、病態および外科的治療法を学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕 総論（外科看護の基礎）として、周手術期（術前・術中・術後）の看護に必要な知識、技術、考え方を学ぶ。各論として、頭部および頸部、肺および胸部、心臓および脈管系、消化器および腹部、脳神経系、運動器系など各臓器の疾患について学ぶ。</p>					
授 業 回 数	授 業 の 内 容					
第1～4回	外科診断・治療と管理の基本、手術侵襲と生体の反応 炎症、腫瘍、外傷 麻酔法					
第5～7回	酸素療法と人工換気 体液・栄養管理、輸血療法 ショックと救急処置法					
第8～14回	外科的処置が必要な疾患 > 頭部および頸部 > 肺および胸部 > 心臓および脈管系 > 消化器および腹部 > 脳および神経 > 小児の外科					
第15回	まとめ					
成績評価の方法	レポート及び出席状況などを参考にして、まとめの結果を中心に成績評価を行う。					
テ キ ス ト	系統看護学講座 臨床外科看護総論および各論 医学書院					
参 考 図 書	ナースの外科学 改定4版 中外医学社 新体系看護学 別巻4・5 臨床外科看護学①・② 第1版第11刷ゲカフレンド社、 スタダートテキストブック 標準外科学 第10版第2刷 医学書院					
履修上の留意点	構造機能学で習得した知識を基礎に、外科疾患の病態を理解し、なぜそういう治療をするのか、なぜそういう看護をするのか、の因果関係を十分に理解し、身につけることが大切です。					